

ミカドロイド (1991)

メディア オリジナルビデオ

ジャンル アクション SF 特撮

製作国 日本

色彩 Color

時間 73分

【解説】

東宝ビデオのシネパック第一弾として、1991年11月8日にリリースされたのがこの『ミカドロイド』である。

第二次大戦末期、敗色濃厚な日本。その中で帝国陸軍が極秘裏に研究していた秘密兵器、それが人造人間“ジンラ號”。敗戦とともに歴史から抹消されたジンラ號であったが、空襲で埋没した研究所の中、眠り続けていた一体があった。そして今、半世紀の歳月を経て、ジンラ號が東京の地下に蘇る！ 心とした偶然でその地下迷宮に迷い込んでしまった若い男女二人は何を見るのか？ 未完成の人造人間として老いる事も出来ずに彷徨い続けてきた謎の男、彼は一体何を望むのか？ 本作は舞台となる場所と時間が狭い範囲に限定されているため、物語の密度が濃く、一夜限りの幻想的な悪夢のような作品となっている。

ジンラ號のデザインを担当したのはイラストレーターの明日蘭。蒸気機関車のような旧式なラインでまとめられているジンラ號は一見ユーモラスで鈍重な外見だが、内に潜ませた悪夢と狂気が不思議な説得力を持ち、印象深い仕上がりとなっている。またジンラ號専用武器として設計されたという設定の“100式短機関銃改「ベ式」テラ銃”は、当時の落下傘部隊が使用した実銃をモチーフにいかにもそれらしくまとめられており、ジンラ號の設定をよりリアルな物としている。その他、南部十四年式拳銃や96式軽機関銃などの各種プロップガンもリアルな作動シーンを見せて画面を引き締めている。

監督を務めたのは特殊メイククリエイターとして有名な原口智生。本作は原口自身が長年あためてきた企画で、原口の監督デビュー作となった。

【クレジット】

監督	原口智生	
監修	実相寺昭雄	
原作	原口智生	
脚本	原口智生	
	武上純希	
撮影	間宮庸介	
特撮監督	樋口真嗣	
デザイン	明日蘭	
音楽	川井憲次	Kenji Kawai
出演	洞口依子	彩子
	吉田友紀	富田
	破李拳竜	ジンラ號 (鍋島)
	速見健二	
	伊武雅刀	
	黒沢清	Kiyoshi Kurosawa
	林海象	Kaizo Hayashi
	手塚真	

森本レオ Leo Morimoto

深沢政雄